



漁業者名	開成水産株式会社
漁業種類	大中小型まき網漁業
計画期間	平成31年 1 月～令和 5 年12月
計画の類型	一般型

計画作成の背景・課題

灯船の建造及び中古網船・運搬船の更新を行うことにより、漁獲効率や安全性の向上を図るとともに、省人化による労務費の削減、修繕費や燃油費の削減を図ることとした。



19t型灯船(建造時)

計画における取組内容

大中小型まき網漁業における灯船、網船、運搬船の計画的な更新を行うことによりコスト削減を図るとともに、漁獲・運搬効率及び安全性の向上に取り組んだ。また、船内のインターネット環境の整備や新卒者の採用強化により、新規乗組員の確保にも注力した。

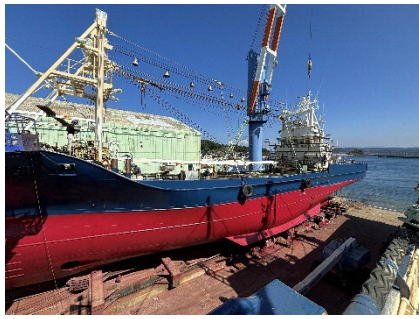
- ・ 令和 2 年 19t型灯船建造・就航(燃油費・人件費・修繕費の削減)
- ・ 令和 2 年 21かいせい船団運搬船に魚艙循環ポンプ装備(品質の向上・魚価の安定)
- ・ 令和 5 年 8かいせい(網船) 代船、中古135t網船取得(修繕費削減)
- ・ 後継者確保・育成対策(インターネット環境の整備、水産高校へ募集案内の実施)



循環ポンプ(テスト時)



第8かいせい(網船代船)



運搬船(循環ポンプ取付時)

計画による効果

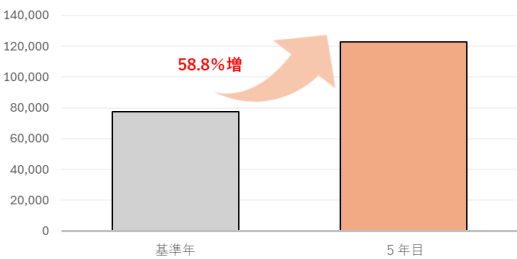
計画の各取組みを実施し、操業コスト(燃油費・人件費・修繕費)の削減と、売上高の向上を図ることができた。
また新規の乗組員も継続して確保できている。
計画期間(5年間)で減価償却前利益の伸び率が、基準値15%以上を達成。

19t型灯船燃油費
(85t灯船と比較)
▲33.6%

新規乗組員の確保
毎年3名以上
新卒者の採用強化

水揚げの向上
資源管理に取組、
品質管理の高度化

(千円) 減価償却前利益の基準年と5年目の比較



今後の展望

品質向上・魚価安定化を強化し売上高の増加を図り、老朽化した運搬船を低コストで代船建造し、更なる経営基盤の強化を目指す。

